

令和2年度上半期
学校関係者評価委員会報告書

評価対象期間

自：令和2年4月

至：令和2年9月

学校法人菊武学園

専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院

学校関係者評価委員会

学校法人菊武学園 専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院 学校関係者評価委員会は令和2年度（2020年度）上半期の自己評価報告書に基づいて学校関係者評価委員会を開催致しましたので、以下のとおり報告致します。

1. 日 時：令和2年12月8日（火）10時～12時

2. 場 所：本校4階ブライダルサロン

3. 出席者：学校関係者：

榊原 哲夫（日本ウェディングプランナー・ネットワーク協会理事長）

井上 幸信（フラワーショップ「Botanical Style」オーナー）

天野 民子（株式会社AKプロモーション会長）

梶原 幹史（有識者/元高校教員）

後藤 潤 （卒業生/同窓会長）

高木 裕子（在校生保護者）

学内委員：

中川 信子（校長）

蓑島 哲也（学事課長）

鈴木 順子（事務課長）

欠席者：なし

4. 配布資料：令和2年度上半期自己評価報告書

学生募集活動/在籍者数/就職状況等に関する報告書

「建学の精神」 「学校理念」 「学校目的」 「育成人材像」

学校法人菊武学園 建学の精神

本学園の建学の精神は「職業教育をととして社会で活躍できる人材の育成」であり、本校教育の基盤である

学校理念

「本物志向の教育」、「国際教育・教育の国際化」、「師弟同行を踏まえた教育活動」、「学校文化」

学校目的

豊かな感性、高い道徳心、たくましい心身を持って、地域社会において信頼される人間、かつ、自分の一生において果たすべき役割を自覚し、進むべき道を主体的に切り開く人間の育成

育成人材像

1. 地域社会、国際社会の動向に目を向け、より良い社会の実現に向けて主体的かつ積極的に行動し、貢献することができる
2. ブライダル・フラワー・ビューティの各分野における専門性の基礎となる幅広い教養を深め、専門的な知識・技術・職業理解を身につけている
3. 他者を尊重し、多様な価値観を受け止め、様々な人々と円滑にコミュニケーションを図ることができる
4. 自らを律し、課題を発見し、他者と協働して課題解決のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる
5. 身につけた教養や専門性をもって他者に寄与できることの幸福やその重要性を深く理解することができる豊かな人間性を有している

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目	適切＝4		ほぼ適切＝3	
	やや不適切＝2	不適切＝1	不適切＝1	不適切＝1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・関係業界・保護者等に周知がなされているか	4	③	2	1
学科の教育目標・人材育成像は、業界のニーズに向けて対応しているか	④	3	2	1

○本校の理念・目的・育成人材像を教育の根幹に据え、日々教育活動に邁進している。

本校の有する学科は「ブライダル・フラワー・ビューティ」の3分野に渡っており、本校の職業教育の特色は、「社会で即戦力として活躍できる学生の育成」である。

○今、求められている社会のニーズに学生が応えていくことができるように、各分野の専門知識や技術の習得のみに留まらない教育を目指している。3分野とも接客を基本とすることがその業務内容であることから、社会人としてのビジネスマナーやおもてなしの心を身につけた「お客様から信頼される職業人」となるよう徹底した指導を行うカリキュラムを編成している。

今後に向けての方策

○学校の基本となる、理念・目的・育成人材像等に関して、十分な周知が得られるよう、更に努力を続けていきたい。学校のオープンキャンパス時に、本校の目指す育成人材像「5.身につけた教養や専門性をもって他者に寄与できることの幸福やその重要性を深く理解することができる豊かな人間性を有している」を伝えるために、画像を利用して説明するようにしている。本校の求める人材像を分かりやすく明示することを通して、適切な学生募集を展開する。

○コロナ禍における業界ニーズの変化を現場の方より直接にお聞きし、日々の授業内容及び就職指導に反映させるよう留意する。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○学校の理念・目的・育成人材像等に関しては、学校案内パンフレットやHPに明示されているため、本校への進学を希望する高校生、保護者、高校教員等へ確実に伝わっていると思われる。オープンキャンパスでもその点に注力して説明を行っているとのことで、そのまま続けて欲しい。(梶原委員)

(2) 学校運営

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1	不適切 = 1	不適切 = 1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

○社会で必要とされる優れた人材育成のために、効率の良い運営組織、事業計画を毎年作成している。

○運営組織は毎年4月に発表される。個々の教職員の高いスキルが生かせるよう、人事配置・業務分担等には細心の注意がはらわれている。

○校内でコンピュータシステムを介しての情報共有ができており、学生の授業出席状況・成績・各種資格取得・就活状況等の情報に教職員がアクセス可能。それによってスムーズな学生指導を進めることができる。

今後に向けての方策

○事業計画策定については、明確な中長期的な視点を持って実施されていない場合もある。学校の5年後、10年後を見据えた上での、計画策定を行ってゆく。

○教育活動等に関する情報公開については、随時、本校のHP上で行っている。「学校の今」を、できる限り迅速に発信する。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○「学校運営」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。

(3) 教育活動

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1	不適切 = 1	不適切 = 1
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
各学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
授業評価の実施体制はあるか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
成績評価・履修認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

○関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等を行っている。

○授業評価については、年に2回実施しており、学生の授業に対する意見等を細かく拾えるような制度を設けてい

る。結果は全ての教職員にフィードバックされている。

- 資格取得については、全ての資格に関して「検定対策授業」を設けており、効率的に勉強できるよう環境を整えている。
- 学園主催の教職員研修が年に数回実施されている。学生指導の一助となっている。

今後に向けての方策

- 教職員の学生指導力向上のため、本校主催での以下の研修を実施した。

2020年12月5日(土)「スマートフォンを利用した魅力的な写真撮影方法」

学校からの情報発信、特にinstagramの閲覧者が多いことから、今回は写真撮影について学んだ。教育活動の記録及び発信時に役立ててゆきたい。教職員の能力開発を目的とした研修の機会を、今後も増やしてゆく。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

- 新型コロナ感染拡大が続いている状況なので、本校の学生で感染者が出る可能性もある。その際には、約2週間ほどの出席停止になるが、その期間の学びの補完をできる限り行っていく必要があると思う。(天野委員)
- 「職員の能力開発のための研修」は、必要不可欠なものだと考える。教職員は授業で学生に対してアウトプットをし続けるものであるため、やはりそれと同時に、知識やアイデア等のインプットが必要とされる。業務で忙しいと思うが、今回だけにとどまらず、これからも教職員対象の研修会を実施して欲しい。(梶原委員)

(4) 学修成果

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1

- 就職率は非常に良好。就職希望学生の就職率は100%を維持している。

1年次4月より、キャリア教育の必修科目が授業に組み込まれている。自己分析、働くことの意味についての理解、業界分析、履歴書の書き方、就職面接等、就職活動に向けて丁寧な指導を行っている。

- 退学率の低減に向けて、教職員で協力しながら日々努力を続けている。問題を抱える学生への早期対応を、該当担任を中心に全教職員で行っている。

- 卒業生については就職先企業との連絡をなるべく密に取るよう努力している。そのため入社後の動向はある程度把握ができています。

今後に向けての方策

- 学生の学校生活に対する満足度向上のため、担任教員間の情報交換をより頻繁におこなってゆく。

2020年12月8日現在、退学率は1%となっており、退学者は例年より低く抑えられている状況である。これからも学生の様子により注意を払い、教員の連携、協力を通して早めの対応を実施。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○新型コロナウイルスによる大きな影響が出ている厳しい状況下においても、本校は今年も就職率が高いため安心である。また、退学率に関しては1%という非常に低い数値で驚いた。就職内定率も退学率低下も、日ごろの教職員の努力があってこそのものだと思う。この調子で来年度につなげていければ素晴らしい。(井上委員)

(5) 学生支援

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
進路に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4	③	2	1
学生への経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	3	②	1

○年に1度、春に健康診断を実施（全学生・全教職員対象）。また、毎年4月に学生健康調査を実施。これらの結果を踏まえて、卒業までの2年間の学生健康管理を行っている。

○経済的な支援には、国の教育ローン（日本政策金融公庫）、日本学生支援機構の奨学金、高等教育無償化制度による奨学金などがある。また、入学時には指定校推薦・公募推薦の高校推薦入試枠による入学者に対しての学費減免がある。更に、本校特待生選考制度利用による学費減免も用意している。

今後に向けての方策

○例年初夏に実施している保護者対象のフラワー体験が、今年度はコロナの影響で中止となった。保護者の方のお声を直接にお聞きする良い機会が失われてしまったことが非常に残念であった。現在は、保護者の方よりご質問等があれば学校へ直接にお電話いただく場合もあるので、保護者の皆様に学校へご相談いただくことのハードルが高くならないように常に留意する。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○新型コロナ感染拡大で授業等への影響が大きくなるのではないかと心配をしていた。しかしながら、6月にはZOOMやyou tube を利用してのオンライン授業の実施、その後は通常の対面授業の実施と続き良かった。先生方のご指導のおかげで、新型コロナ感染者も出ていないとのことで安心である。先生方のLINE を利用しての個々の学生への丁寧な指導に感謝している。(高木委員)

(6) 教育環境

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

- 施設・設備に関しては、3分野の実習授業で必要となるものを完備している。
- 学外の実習授業・インターンシップについては、関連分野の企業との連携のもとに進めている。
- 自衛消防組織をつくり、防災に努めている。

今後に向けての方策

- 災害発生時の正しい行動パターンの学習、訓練をより徹底する。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

- 「学校運営」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。

(7) 生徒の受入れ募集

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④	3	2	1
学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

- 例年、入学生の多くが高校卒業後すぐに本校へ入学している。高校現場より、卒業生の本校での様子や就職先についての情報を求められることが多い。それゆえ、本校職員の高校訪問時に訪問高校の卒業生の動向についてしっかりと説明を行っている。
- 他校による、AOエントリー（6月から受付）による早期の学生取込傾向がある。本校では、AO入試以外の試験区分も視野に入れた慎重な学校選びを高校生に推奨している。結果、本校では高校推薦入試を希望する学生が多い。
- 募集活動において、取得可能検定や最新の就職先案内を行っている。

今後に向けての方策

- コロナ禍における、学生募集活動が難航している。オープンキャンパス・会場相談会等への参加者数や高校訪問数の大きな減少が見られる。このような状況において、高校生に本校の教育活動内容を迅速かつ的確に届けられる学校HPを利用した情報配信の重要性が増している。タイムリーな情報提供を目指し、一層の努力を行う。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

- 学生募集活動において、学校HPの果たす役割は大きいと思う。私は本校のHP記事の更新をいつも楽しみにして読んでいる。本格的な授業の内容や学生の楽し気な様子もよく伝わっていると思う。記事の頻繁な更新は大変だと思うが、学校の最新の情報をいち早く届けるために、これからもがんばって欲しい。（後藤委員）

(8) 財務

評価項目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

- 学校の収入源の第一は学生生徒等納付金収入であることから財務の基盤は在籍数となる。31年度の入学者数は前年より微増となったが、在籍数としては減少し、28年度より3年間、在籍数は徐々に減少している。財政基盤を安定させる為、定員の充足が必要となる。
- 在籍数は減少しているものの、経費削減に努め、当年度収支差額はプラスを維持しており、長年の翌年度繰越収支差額のマイナスも改善されてきている。
- 学園本部による内部監査が年2回、公認会計士監査が年3回行われ、適正な会計処理を行っている。学園の財務情報はHPにて公開されている。

今後に向けての方策

- 学校の財務基盤の安定のため、高い定員充足率を目指したい。そのために、広報渉外活動内容に関して、「内容」「頻度」を注視しながら更に充実させてゆく。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

- 「学校運営」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

- 法令、専修学校設置基準等を遵守し、円滑な学校運営を行っている。
- 個人情報に関しては、学生及び教職員に関する一切の情報の持ち出しを禁止している。
- SNSを利用して広報活動を行う機会が多くある。学生の写真等が掲載される場合には、事前に掲載の可否を必ず本人に確認している。

今後に向けての方策

- 自己評価結果を全教職員で共有し、それを確実に次年度へ活かすサイクルを定着させる。抱える問題点の「気付き」と「改善」の継続を実施。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

- 「学校運営」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
学生のボランティア活動を奨励しているか	4	3	②	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1

○2019年度の社会貢献・地域貢献については、以下の通りであった。

ブライダルビジネス科・・・本物の結婚式プロデュースの実施 3回（無償）

フラワービジネス科・・・星ヶ丘テラス/ガーデン施工（無償）

名古屋市役所西庁舎/花壇植え込み（無償）

MOZOWONダーシティ/フラワーショー（無償）

トータルビューティ科・・・校内ビューティサロン（ワンコイン）

老人保健施設/エステ・メイク等（無償）

今後に向けての方策

○今年度に関しては、新型コロナウイルス感染予防のために外部の方との接触をできる限り抑える方向で課外活動等を行ってきた。

従って、上述の昨年度の活動項目に関しては、

- ・ブライダルビジネス科・・・本物の結婚式プロデュース 例年3回実施 → 今年度1回実施（12/20実施）
- ・名古屋市役所西庁舎/花壇植え込み → 実施せず
- ・MOZOWONダーシティ/フラワーショー → 実施せず
- ・校内ビューティサロン → 回数の減少
- ・老人保健施設/エステ・メイク等 → 中止

※新型コロナウイルスの状況を注視しながら、安全が確保される時には諸々の社会貢献活動を再開してゆく。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○「社会貢献・地域貢献」の一環として、長年に渡って毎年実施してきた「本物の結婚式プロデュース」が今年は1組のみとなる。ブライダル業界は新型コロナウイルスによる大きな影響を受けている。今年度の春の時点では3組のご夫婦より結婚式プロデュースの依頼が入っていたが、うち2組はキャンセルもしくは延期となってしまった。1組だけでも今年プロデュースすることができて良かったと思う。毎年2～3組の結婚式プロデュースを実施してきたので、その披露宴に出席した友人・親族から次は自分が依頼したいと連絡が入るのが常。実際に学生の動きなどを目にして、その上で結婚式プロデュース申込があることは大変に嬉しいこと。無償で行っており、大きな地域貢献になっている。（榊原委員）